

眼科専門研修プログラム

地域に寄り添いながら眼科学を楽しみ、
そして究める

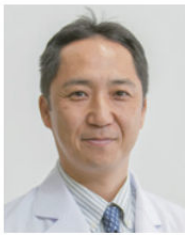
募集定員
4名

研修期間
4年



責任者からのメッセージ

眼科
教授 池田 康博



宮崎大学医学部眼科学教室は、1976年に創設された比較的若い教室です。医局員は28名と多くはありませんが、教授・准教授から研修医までがいつも顔を合わせながら、アットホームな雰囲気の中で日々の診療・教育に励んでいます。広大な宮崎県の眼科医療を当教室が支えています。白内障や緑内障のような一般的な疾患だけでなく、小児眼科、瞼や涙道の疾患などといったあらゆる眼疾患に対し、高いレベルを保ちながら診断から治療までを実践しています。眼科学を楽しめる環境を整備することで、若い先生には少しでも早く一人前に育ってもらい、宮崎県の眼科医療を支えて欲しいと思っています。

プログラムの特徴

眼科疾患は小児から高齢者まで幅広い年齢層が対象で、内科的治療だけでなく外科的治療も必要とし、幅広い医療技能の習得が求められています。宮崎大学眼科専門研修プログラムでは、以下の眼科医の育成を目指します。

- ① 一般眼科学に精通し、専門性の高い眼科治療にも対応できる眼科医
- ② 一般診療所の医師のみならず総合病院の眼科医としてやっていけるだけの必要かつ十分な技術を身につけ、将来地域で活躍できる眼科医
- ③ 診療技能のみならず、学会発表や論文作成を通じて科学的に思考できる眼科医

連携施設名等

	施設名	指導医	内眼手術（年間）	外眼手術（年間）	レーザー手術（年間）
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	池田 康博 教授、他7名	1,198	513	190
連携施設	県立宮崎病院、県立日南病院、宮崎中央眼科病院、宮田眼科病院、九州大学病院、JCHO九州病院、麻生飯塚病院、九州医療センター				

専門医取得までのタイムスケジュール

4年間の研修期間中、1年目、あるいは2年目のどちらかを専門研修基幹施設である宮崎大学医学部附属病院で研修します。1、2年目は宮崎大学医学部附属病院、連携する県内の中核病院のいずれかで研修を行い、3年目以降は宮崎大学医学部附属病院、県内の中核病院、もしくは福岡県の中核病院で研修します。



取得可能な専門医資格および技能

眼科専門医、神経眼科相談医、眼科PDT認定医

プログラム達成目標

- ① 医師としての基本姿勢・態度、眼科6領域（角結膜、緑内障、白内障、網膜硝子体・ぶどう膜、屈折矯正・弱視・斜視、神経眼科・眼窩・眼付属器）、他科との連携に関する専門知識。
- ② 検査、診断、処置、手術、手術管理、疾患の治療・管理に関する専門技能。
- ③ 学問的姿勢。
- ④ 医師としての倫理性、社会性を身につける。

主要症例名と実績数

2025年度の宮崎大学医学部附属病院眼科における手術件数は、白内障手術659件、網膜硝子体手術394件、緑内障手術265件、斜視手術119件、レーザー手術164件、涙道手術78件、角膜移植2件を含む計1,916件でした。これは眼科のほぼすべての領域をカバーしています。さらに県下唯一の大学病院であるため、稀少症例も経験することができます。また県内外の8つの専門研修連携施設においても、common diseaseをはじめそれぞれの施設の特色により集まった多数の症例があり、基幹施設以外でも専攻医として必要な手術症例数を十分に経験できます。

週間スケジュール（宮崎大学医学部附属病院の例）

時 間	月	火	水	木	金	土
午前	・手術 ・専門外来（緑内障）	・病棟回診 ・外来業務 ・病棟業務	・手術 ・専門外来（黄斑変性）（ぶどう膜炎）	休 診	・外来業務 ・病棟業務	・手術 ・専門外来（小児・斜視・神経眼科） ・病棟業務
午後	・手術 ・専門外来（緑内障） ・病棟業務	・外来業務 ・専門外来（未熟児網膜症）（緑内障） ・病棟業務 ・医局会（17時）	・手術 ・専門外来（黄斑変性）（ぶどう膜炎） ・病棟業務	休 診	・外来業務 ・専門外来（未熟児網膜症）（網膜硝子体） ・病棟業務	・手術 ・専門外来（小児・斜視・神経眼科） ・病棟業務

指導医からのメッセージ



医局長 日高 貴子

私が眼科を選んだ理由は、手術に携わることができて、幅広い年齢の患者様を診療することができることでした。眼科医になってからは、眼科診療の奥深さ、面白さを感じながら日々精進しております。今指導する立場となり、眼科の魅力を感じることができ、研修医の皆さんの糧となるような指導ができたらと思っています。それぞれ皆さん色々なバックグラウンドを持ちながら働いていらっしゃると思いますが、眼科はそれぞれの働き方に柔軟に対応できる科です。眼科に興味がある先生方だけではなく、どの科を回ろうか悩んでいる先生もぜひ一度眼科で研修してみてください！

先輩からのメッセージ



河野 資之

私は学生実習と研修医の時に顕微鏡を通して見た硝子体手術の美しさに惹かれて眼科を志しました。実際には網膜疾患以外の眼疾患も非常に多く、診療するのは小児から高齢者まで様々であるため、専門医を取得した今でも非常に学びの多い日々を送っております。特に最初は眼科検査や診察は専門性が高く難しいと思われることも多いですが、研修医や専攻医として眼科ローテートすれば必ず身に付いてきます。外来および入院診療、手術研修を通して、経験豊富な指導医がしっかりあなたをリードします。少しでも興味があれば、早い時期に是非眼科の見学や研修にいらしてください。お待ちしております。



外山 直樹

眼科の魅力は、外来・手術・研究のバランスがとりやすい点にあります。外来では画像診断を駆使して効率よく診療でき、手術はマイクロサージェリー中心で奥が深く、技術を突き詰めていくやりがいがあります。研究も画像や数値データが主体で解析しやすく、臨床と直結したテーマが多いため、日々の診療がそのまま研究につながる実感があります。私は宮崎大学の眼科で、1年目から外来・手術・研究すべてに関わることができ、充実した研修生活を送っています。眼科に興味のある方はぜひ一度見学にいらしてください。



吉満 直哉

私が眼科を志したきっかけは、手術が楽しそうだからというシンプルなものでした。実際に眼科医なってみると、2 cm程度の臓器は様々な組織で複雑に構成されており、基本的な手技でさえ想像の何倍も難しく、繊細で脆いためいつもハラハラしながら相手しています。不器用な自分に向いていないのではないかと頭を悩ませましたが、1年が経過し振り返ると、できることは日々増えていき楽しく学べているなど感じます。楽しめている大きな要因に、熱心で優しく指導して下さる先生方や仲の良い同期に恵まれ職場環境が良いことや、診療科の特性上、患者様の改善自覚が得られやすいため、喜びの声を聞きやすいことが挙げられます。手術に憧れてるけど診療科に悩んでいる方はぜひ一度回ってみてはいかがでしょうか。

お問い合わせ先

担 当：日高 貴子

T E L：0985-85-2806
F A X：0985-84-2065
e-mail：takako_hidaka@med.miyazaki-u.ac.jp

眼科 HP

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/ophtha/>



耳鼻咽喉科
専門研修プログラム

内科系、外科系どちらでもできます
新生児からお年寄りまで診ます
外来診療から手術まで、ステップアップが実感できます

募集定員
5名

研修期間
4年

連携施設名等

	施設名	指導医	年間手術件数
基 幹 施 設	宮崎大学医学部附属病院	高橋 邦行 教授、他 4 名	約900
連 携 施 設 Ⅰ	県立宮崎病院、県立延岡病院、国立病院機構都城医療センター、宮崎善仁会病院		
連 携 施 設 Ⅱ	東京慈恵会医科大学附属病院、国際医療福祉大学成田病院、九州大学病院、福岡大学病院、名古屋市立大学病院、新潟大学医学部附属病院、新潟大学歯学総合病院、川崎医科大学附属病院との連携も選択可能です。		

連携施設Ⅰ・・・地域医療を担う病院：指導医1名以上、スタッフ1名以上、年間手術件数150件以上
連携施設Ⅱ・・・他大学病院(様々な地域の中心的存在として機能している。基幹施設だけで習得することのできない、地域性豊かかつ専門性の高い最先端の医療を経験できる。)

専門医取得までのタイムスケジュール

コース	1 年	2 年	3 年	4 年
基 本 コ ー ス	宮崎大学附属病院	宮崎大学附属病院	地 域 医 療 施 設	宮崎大学附属病院
国 内 留 学 コ ー ス	宮崎大学附属病院	宮崎大学附属病院	他大学連携施設	宮崎大学附属病院
基礎研究展開コース	宮崎大学附属病院	宮崎大学附属病院	地 域 医 療 施 設	宮崎大学大学院
地域枠キャリア形成コース	宮崎大学附属病院	地 域 医 療 施 設	地 域 医 療 施 設	宮崎大学附属病院

プログラム達成目標

1 年目 (2027 年度)

宮崎大学医学部附属病院において専門研修の基礎を固めます。

2 年目 (2028 年度)

宮崎大学医学部附属病院において大学病院特有の専門性を有する疾患の経験を積みます。

3 年目 (2029 年度)

地域医療を担う県立宮崎病院、都城医療センター、宮崎善仁会病院、県立延岡病院において6カ月～12ヵ月間の地域医療の実践的な研修を行います。また、上述したような他大学連携施設で3ヶ月から1年間の研修も可能です(国内留学コース)。

4 年目 (2030 年度)

宮崎大学医学部附属病院において専門研修の総点検を行い、不足事項があれば補填した上で専門医試験前対策期間を適宜設けます。また、基礎研究展開コースでは社会人大学院に入塾して基礎研究を開始します。



責任者からのメッセージ

耳鼻咽喉科
教授 高橋 邦行



耳鼻咽喉科・頭頸部外科の範囲は、生命・機能維持に関する多くの感覚器、運動器があり、内科的、外科的な両面から、生活の質(Quality of life)の改善、健康増進を目指しています。めまい、感染症、アレルギー性疾患から、人工聴覚器のような先進医療、気道緊急などの救急疾患、悪性腫瘍に対する集学的治療まで、さまざまな分野に対応しています。映像の共有、シミュレーション手術も使い、レベルに合わせた屋根瓦方式な指導で、若いうちより安全、確実に技術の獲得ができます。医療者自身が健康で楽しく仕事をできないと、患者さんの健康を守ることができません。当科では組織として互いにリスペクトし、楽しく仕事ができる環境を実践しています。

取得可能な専門医資格および技能

耳鼻咽喉科専門医: 耳、鼻、口腔咽喉頭、頭頸部全ての領域において「標準的医療を提供できる」耳鼻咽喉科専門医を育成するためのプログラムです。

- 耳科手術指導医
- 鼻科手術指導医
- 頭頸部がん専門医
- がん治療認定医
- 気管食道専門医



主要症例名と実績数

専攻医は4年間の研修期間中に右表の疾患について、外来あるいは入院患者の管理を受け持ち医として実際に診療経験しなければなりませんとされていますが、当プログラムでは十分経験することが可能です。

症 例	実績数	症 例	実績数
難聴・中耳炎	25例以上	喉頭腫瘍	10例以上
めまい・平衡障害	20例以上	音声・言語障害	10例以上
顔面神経麻痺	5例以上	呼吸障害	10例以上
アレルギー性鼻炎	10例以上	頭頸部良性腫瘍	10例以上
鼻・副鼻腔炎	10例以上	頭頸部悪性腫瘍	20例以上
外傷・鼻出血	10例以上	リハビリテーション（難聴、めまい・平衡障害、顔面神経麻痺、音声・言語、嚥下）	10例以上
扁桃感染症	10例以上		
嚥下障害	10例以上	緩和医療	5例以上
口腔・咽頭腫瘍	10例以上		

週間スケジュール（宮崎大学医学部附属病院の例）

時間	月	火	水	金	土
AM	手 術	症例検討会	学生実習指導 手 術	手 術 or 外 勤	手 術
		外 来			
PM	手 術	カンファ 病棟回診 抄読会・ゼミ	手 術	手 術 or 外 勤	手 術

- 新人クルズス：計10回で構成される指導医から専攻医への研修(各分野ごと)
- MENTORゼミ：専攻医・指導医合同で行う専門医試験対策
- 耳科、鼻科、頭頸部専門分野カンファレンス
- 院内合同カンファレンス(嚥下、放射線治療など)

ココに注目！

◆耳鼻咽喉科の特徴

五感、すなわち視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚のうち視覚を除いて耳鼻咽喉科の守備範囲です。耳鼻咽喉科は人間が人間らしく生きる上でもっとも基本的かつ重要な機能を扱っています。扱う疾患、手技が多岐にわたるため、個々の興味、能力、体力などに応じて、耳鼻咽喉科・頭頸部外科の中で、自分にふさわしい分野(サブスペシャリティー)を見つけることができます。

◆女性医師について

日本耳鼻咽喉科学会会員の女性医師は年々増加傾向にあり、現在24%を超えています。小児難聴をはじめ従来から女性医師が活躍してきた領域も多く、高い専門性を保ちながら医療の第一線で活動を継続している女性医師が多いのも耳鼻咽喉科の特徴です。

指導医からのメッセージ



医局長 中村 雄

みなさん、こんにちは。医局長の中村です。当教室は、長年耳科学を中心に全国に発信して来た教室で、耳科手術に関しては全国トップレベルに位置している教室だと自負しています。また地域医療の基幹拠点として、県内3施設・県外1施設に常勤医を、県内・県外の11施設に非常勤医を派遣し地域医療に貢献しています。また外科医としてのみならず内科系医師としても、フルタイムでもパートタイムでも働く事が出来る環境にあります。「宮崎ブランド」としてどこに出しても恥ずかしくない耳鼻咽喉・頭頸部外科医に育てますので、老若男女問わずお待ちしております。



猿渡 英美

私は初期研修の時に耳鼻咽喉科に興味を持ち、入局を決めました。耳鼻咽喉科の魅力の一つは、耳、鼻、のど、頭頸部と幅広い分野を学ぶことができ、また新生児から高齢者まで様々な方と関わることができる点だと思います。働き方も様々で、専門分野を決めることもできますし全ての分野を学ぶこともできます。また診療形態の選択肢も多く、育児をしながらでも希望通りの働き方で仕事を続けやすい環境だと思います。耳鼻咽喉科に興味のある方もない方も、まずはぜひ気軽に遊びにきてください。

先輩からのメッセージ



長濱 宗嗣

私はクリクラⅡの耳鼻科の実習のときに、耳鼻科領域に興味を持ち、その時から耳鼻科の先生とも仲良くなり、入局を決めました。耳や鼻の機能改善手術は患者さんのQOLに直結し、頭頸部悪性腫瘍の手術・抗癌化学療法などは命を救う治療であり、幅広い専門領域があります。手術をメインに働くこともできますし、外来をメインに耳鼻内科として働くこともできます。専門医を取得したあとも、幅広い選択肢の中から、自分の興味のある分野や、やりたい働き方ができます。学生の方はぜひ実習で、研修医の方はぜひ研修の一コマとして、耳鼻科に遊びに来てください。一緒に楽しみましょう。



古賀 浩之

6年生のクリクラ実習のときに耳鼻科の手術をみて、はじめは理解できなかった解剖や術式が見学を重ねて何となく理解できるようになり、楽しく感じたのがきっかけで入局しました。先輩方も楽しく、頼もしい方ばかりで、入局当初とても安心して耳鼻科医としてスタートを切れました。私は手術が好きでその道に進んでいますが、耳鼻科の良いところは一つの診療科の中に大きな幅や奥行きがあり、入局後にさらに沢山の選択肢を持つことができることだと思います。実習や研修に来ていただけたら全力で耳鼻科の魅力をお届けします。皆さんよろしく願います。

お問い合わせ先

担 当：後藤 隆史

T E L：0985-85-2966
F A X：0985-85-7029
e-mail：takashi_ngoto@med.miyazaki-u.ac.jp

耳鼻咽喉科 HP

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/jibika/>



募集定員
6名

研修期間
4年



責任者からのメッセージ

泌尿器科
病院長 賀本 敏行



当教室は、宮崎医科大学の開設にともない昭和52年に開講されました。平成21年5月から私が3代目として担当させていただいております。

大学病院では“大学病院ですべき領域”を明確にし、連携施設との役割分担、開業医の先生との緊密な医療ネットワークを活用して、宮崎県の泌尿器科医療はかなり高いレベルになっていると自負しています。泌尿器科領域にはその他にも数多くの疾患がありますが、専門研修においては宮崎県の中で広く身につけていただくようなプログラムを作成しています。4年間で専門医を取得した後は、基礎研究に興味がある先生には大学院に進学していただきます。また希望があれば、国内の他の施設との人事交流も積極的に行っていますので、サブスペシャリティーとして特化した領域の病院や、“都会”の中核病院でのさらなる研鑽も可能です。医師として長く納得して仕事をするためには、診療の“実力”を身につけること、良い人間関係の構築、そして何より“家族”が大事です。そのためには医局の雰囲気がいかに重要だと思っています。その点、当教室の医局員の皆さんは気持ちの良い先生ばかりで、大変良い雰囲気の仕事ができていると思っています。日本のトップレベルの泌尿器科になるために是非力を貸してください。

プログラムの特徴

宮崎大学泌尿器科専門研修プログラムは宮崎大学医学部附属病院を中心としたいくつかの診療拠点病院と地域医療を担う地方中核病院の2群から構成されています。泌尿器科専門医に必要な知識や技能の習得と同時に、地域医療との連携や他の専門医への紹介・転送の判断も確に行える能力を身につけることができるよう配慮しました。また学術的な涵養を目的とした大学院進学コース、専門研修後にはより高い臨床実施能力の獲得を目指す臨床修練コース、2つから選択することが可能です。

連携施設名等

	施設名	指導医	年間手術件数
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	賀本 敏行 教授、他7名	421
連携施設	県立延岡病院、県立日南病院、川南病院、藤元総合病院、野崎東病院、千代田病院、おがわクリニック、串間市民病院、潤和会記念病院、古賀総合病院、小林市立病院、人吉医療センター、熊本大学病院、済生会熊本病院		

専門医取得までのタイムスケジュール

○ 大学院進学コース

大学院進学コースにおいては専門研修4年次において大学院へ入学します。病棟や外来業務は従来と同様に行いますが、一方で自分の専門分野を決定し研究の準備も平行しながら行います。本コースを選択した場合は卒業後6年間で専門医の取得が可能で9年間で学位を取得することが可能です。

			専門医取得			学位取得			
			専門研修プログラム			大学院			
卒業後	1	2	3	4	5	6	7	8	9
研修病院	初期研修	大学病院	連携病院		大学病院				

○ 臨床修練コース

臨床修練コースにおいても原則的には2～3年目を研修連携施設で研修し4年目に大学病院に戻って研修しますが、本人の希望や研修の進み具合により2年目以降の研修先に関しては専門研修プログラム委員会が決定します。

						専門医取得
						専門研修プログラム
卒業後	1	2	3	4	5	6
研修病院	初期研修		大学病院	連携病院		大学病院

取得可能な専門医資格および技能

- 1 泌尿器科専門医、指導医
- 2 癌治療認定医
- 3 泌尿器腹腔鏡技術認定
- 4 日本内視鏡外科技術認定(泌尿器科領域)
- 5 日本小児泌尿器科学会認定医
- 6 da Vinci Xi surgical system certificate
- 7 臨床腎移植学会認定医

プログラム達成目標

専攻医は泌尿器科研修プログラムによる専門研修により、「泌尿器科医は超高齢社会の総合的な医療ニーズに対応しつつ泌尿器科領域における幅広い知識、錬磨された技能と高い倫理性を備えた医師である」という基本的姿勢のもと、4つの基本的診療能力(コアコンピテンシー)からなる資質を備えた泌尿器科専門医になることを目指します。また、各コアコンピテンシーにおける一般目標、知識、診療技能、態度に関する到達目標が設定されています。

○ 4つの基本的診療能力(コアコンピテンシー)

- 1 泌尿器科専門知識
- 2 泌尿器科専門技能：診察・検査・診断・処置・手術
- 3 継続的な科学的探求心の涵養
- 4 倫理観と医療のプロフェッショナリズム

主要症例名と実績数

- 1 前立腺、尿道 : 前立腺癌、前立腺肥大症、尿道狭窄、尿道下裂
- 2 膀胱 : 膀胱癌、膀胱結石、神経因性膀胱、膀胱尿管逆流症、間質性膀胱炎
- 3 腎 : 腎細胞癌、腎盂癌、腎結石、末期腎不全、水腎症
- 4 尿管 : 尿管癌、尿管結石、尿管狭窄
- 5 副腎 : 副腎腫瘍
(原発性アルドステロン症、クッシング症候群、褐色細胞腫)
- 6 陰嚢・陰茎 : 精巣癌、陰茎癌、停留精巣、精索捻転、陰嚢水腫

週間スケジュール(宮崎大学医学部附属病院の例)

時間 朝	月	火	水	木	金	土
	カンファレンス	抄読会			カンファレンス	
午前	外来診察・ 入院患者処置	外来診察・ 入院患者処置	手術	外来診察・ 入院患者処置	手術 外来診察・入院患者処置	手術 外来診察・入院患者処置
午後	外来診察・ 入院患者処置	カンファレンス・ 回診	手術	外来診察・ 入院患者処置	手術 外来診察・入院患者処置	手術
夕方	小児泌尿器科 カンファレンス(第2月曜)	病理 カンファレンス(隔週)				

指導医からのメッセージ



准教授 澤田 篤郎

泌尿器科の医師が携わる領域はこの10年間でダイナミックに変化しています。手術は低侵襲で精緻なロボット手術が主流となり、がん薬物治療では免疫チェックポイント阻害薬や分子標的薬の導入で治療選択肢が増えたこともあり、一人ひとりの患者さんに一貫して満足感のある治療を行うことが可能となりました。また排尿障害や尿路結石、男性医学や女性骨盤臓器脱など、幅広い領域のスペシャリティがあるのも泌尿器科の特徴です。特にロボット手術においては、泌尿器科では10年以上の歴史があり、安全性、低侵襲性、機能温存を高い次元で両立することが可能となっています。宮崎大学には最新機種のだ Vinci Xi が2台ありますので、泌尿器科ではこれをフル活用して最高峰の手術を患者さんに提供しています。当科の雰囲気は、漢気あふれる賀本教授を中心に明るく和気あいあいと仕事をしています。国内留学にも積極的で、京都大学やその関連病院、札幌医科大学などで貴重な経験を積んで医師としての幅を広げることも可能です。研修医の皆さん、ぜひ一度見学に来てください。待っています！

ココに注目！

泌尿器科とは？

外科or内科系？どんな疾患をみるの？全身管理はするの？抗がん剤の治療はするの？などなど、名称ではイメージがつかない科の代表だと思えます。外科的治療では内視鏡治療、体腔鏡、ロボット支援手術を発展させ、内科的治療では分子標的薬や免疫チェックポイント阻害剤などを多く使用している科です。一人の患者さんに対し診断、手術、抗がん剤治療、週末期に至るまでを主科としてみる事が多く、初期症状から人生の終着までの一連の流れを体験・理解することができます。また、研修中に習得してもらいたい手技として、腹部エコーや導尿などを指導しております。是非コツを掴んでください！最後に、研修すれば入局したくなってしまうと思います。お互い別れはつらいですが、他科に進まれる場合も笑顔でお見送りますので、心配なく研修に来てください！それでは、会える日をお待ちしております。

先輩からのメッセージ

泌尿器科2年目 久嶋 嵐

私が泌尿器科に興味を持ったきっかけは学生時代のクリニカルクラークシップです。先生方の優しさや、アットホームな雰囲気のカンファレンスがとても居心地が良く、将来は泌尿器科で働きたいと考えようになりました。また、女性医師はもちろん、男性医師であっても出産・育児に対するサポートがしっかりしているところも魅力の一つだと思います。私自身、昨年は入局一年目という立場ではありましたが長期の育児休暇を取得させていただきました。泌尿器科では個人個人の生活を尊重し全員でサポートできる環境が整っているため、仕事と私生活の両立に不安がある方でも安心して働けると思っています。まだ進路を決めていない方、仕事も私生活も大事にしたい方は是非一度見学にお越しください。お待ちしております。

泌尿器科10年目 伊藤 歌織

泌尿器科は全国的に女性医師が不足しています。しかし、泌尿器科こそ女性医師を欲しています。ロボットなら体力に自信がなくても問題ありません、妊婦さんでも手術が可能です。患者さんも女性が多く、陰部となるとセンシティブな場面もあり女性医師が必要です。手術も内科もやる単科ならではの強みとして、男性医師も女性医師も自分の人生のステージに合わせた働き方を選べることは強みだと思います。また、これから九州の大学で初めてGI(性別不合)診療に力を入れていくつもりです。興味のある方はぜひ見学や研修に来てくださいね。

お問い合わせ先

T E L : 0985-85-2968
F A X : 0985-85-6958
e-mail : urology@med.miyazaki-u.ac.jp

担当：澤田 篤郎

泌尿器科 HP

http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/urology/



日本のひなた宮崎県で
あたたかな脳神経外科医を目指しませんか

脳神経外科
専門研修プログラム

募集定員
3~5名

研修期間
4年

連携施設名等

	施設名	指導医	年間手術件数
基 幹 施 設	宮崎大学医学部附属病院	沖田 典子 教授、他5名	292
連 携 施 設	都城市郡医師会病院、潤和会記念病院、金丸脳神経外科病院、池田病院、和田病院		
関 連 施 設	県立日南病院、熊本大学医学部附属病院、大分大学医学部附属病院、鹿児島大学医学部附属病院、大阪大学医学部附属病院		

取得可能な専門医資格および技能

日本脳神経外科学会専門医を取得後、サブスペシャリティ専門医として以下の資格が取得可能です。

- 日本脳卒中学会専門医
- 日本脳神経血管内治療学会専門医
- 日本脳卒中の外科学会技術認定医
- 日本神経内視鏡学会技術認定医
- 日本脊髄外科学会専門医
- 日本小児神経外科学会認定医
- 日本癌治療認定医
- 機能的定位脳手術技術認定医

プログラム達成目標

当プログラム開始後4年間で脳腫瘍、脳血管障害、外傷、脊髄脊椎疾患、小児疾患、機能的疾患、感染などの疾患を経験し、最終的に日本脳神経外科学会専門医を取得することを目標とします。手技的には開頭手術や脊髄脊椎手術、脳血管内手術などの助手業務をこなし、訓練状況によっては開頭血腫除去術などを執刀医として手術を完遂できる技量を身につけることを目標とします。同時に脳神経外科専門医として必要な外来業務、病棟業務をこなし他科医師への適切な助言提供が行えることも目標とします。



責任者からの
メッセージ

脳神経外科
教授 沖田 典子



「脳神経外科医は業務の負担が大きく、強い覚悟が必要」、「脳神経外科でできることは限られている」、そんなイメージを持たれがちな脳神経外科ですが、実際には、医療機器の発展とともに日々進化を続け、無限の可能性を秘めています。脳神経外科は、脳神経系全体に関わる幅広い領域をカバーし、外科手術を含む多様なフィールドでの活躍が求められる、極めてダイナミックな分野です。

宮崎大学脳神経外科では、救急対応や脳神経疾患の診療を基盤とし、脳神経外科専門医取得に向けた体系的な研修を提供しています。さらに、脳血管障害、脳腫瘍などのサブスペシャリティを深めるための充実したプログラムも整えており、それぞれの興味・関心に応じたキャリア形成が可能です。「本当にやりたいこと」を、私たちと一緒に追求してみませんか。

プログラムの特徴

本プログラムは宮崎県唯一の脳神経外科専門医を目指すプログラムです。原則的に宮崎県内での連携施設および関連施設のみで完結するコンパクトな研修システムですが、必要に応じて、他大学(熊本大学、大分大学、鹿児島大学、大阪大学)を関連施設として補充するものです。加えて基幹施設(宮崎大学)では脳腫瘍の遺伝子診断を基にテラーメイドで治療方針を決定するなど、将来基礎・臨床研究面への橋渡しも考慮しています。手術設備についても手術用顕微鏡以外に内視鏡、外視鏡、ナビゲーションシステム、光線力学的治療装置など最先端機器を導入しその技術習得が可能です。また研修期間中も宮崎大学大学院医学獣医学研究科(博士課程)に社会人学生として在籍し、高度臨床医育成コースにおいて臨床研究に携わることが可能です。

専門医取得までのタイムスケジュール

当プログラム開始1年目(卒後3年目)は基幹施設(大学病院)で研修を開始します。2年目、3年目は連携施設もしくは関連施設で1年間ずつ臨床医師として訓練を積み、4年目で基幹施設に戻り研修を継続、5年目(卒後7年目)の夏に脳神経外科専門医試験(筆記および口頭試問)受験となります。脳神経外科専門医資格取得後はサブスペシャリティとして脳血管内治療専門医や脳卒中専門医などを任意で目指して頂きます。



主要症例名と実績数

2025年度の当プログラム基幹施設および連携・関連施設を合わせた実績は以下の通り。基幹施設では脳腫瘍、先天性奇形・水頭症、機能的疾患手術や脳血管内手術が大部分を占め、一方で連携・関連施設では脳血管障害、外傷、脊髄脊椎外科手術、脳血管内手術が多くを占めます。

症 例	実績数
脳腫瘍手術	140
脳血管障害手術	169
外傷手術	341
先天性奇形・水頭症手術	74
脊髄脊椎手術	127
機能的疾患手術	22
脳血管内手術	303



週間スケジュール（宮崎大学医学部附属病院の例）

時 間		月		火		水		木	金		土
午前	8:00 ~	病棟医回診		病棟医回診		カンファ		休み	病棟医回診		カンファ・抄読会
	8:30 ~	手術	病棟	手術	病棟	総回診			手術・ アンギオ	病棟	
	9:30 ~										
	10:00 ~										
午後	13:00 ~					アンギオ 脳血管内 手術	病棟			休み	
	17:00										

指導医からのメッセージ



医局長 山下 真治

「脳神経外科」は文字通り脳神経系の疾患に対して、主に外科的なアプローチでの治療を担当する診療科です。一見、一つの臓器に特化した狭い領域のような印象を持たれるかもしれませんが、そこには腫瘍、血管障害、外傷、小児、脊椎脊髄、機能外科といった多岐にわたるsubspecialityが存在し、実は非常に幅が広い分野であると言えます。また、外科的手技を行うにあたっては、例え同じ疾患であっても症例ごとに病変の広がりや解剖学的な特徴が異なることから、一律な手術はありません。個々の症例の十分な術前検討、科内でのディスカッションを必要とする奥深い側面も持ち合わせています。脳神経に少しでも興味のある方は(ない方も勿論!)、脳神経外科に足を踏み入れてみませんか?あなたが「医師人生をかけて取り組みたい何か」がここにはきっとあります。そして、あなたのその熱い思い、取り組みを我々医局員一同でサポートさせて下さい。あなたの挑戦を待ってます!



助教 松元 文孝

私は2006年に宮崎大学を卒業後、臨床実習の際に脳神経外科で働く先生方に接したことでこの診療科へ進むことを決意しました。顕微鏡手術は実にカッコよく見え、この世界で自分も生きたいと思いました。卒後研修後2008年に脳神経外科に入局し、自分の人生が始まったと感じたのをよく覚えています。脳の手術をするというと、すごく難しいことをしていて、自分には無理だと思うかもしれませんが。しかし脳神経外科の大部分の手技は理屈を理解し、最善の作戦を立てることの方が重要です。ここに少しの器用さを添えることで、手術は魔法のように完成していきます。私も多くの先輩から魔法のような手術をたくさん見せていただき、今はそれを自分が実践していく番になってきていると感じています。もし皆さんと接する機会があれば共にこの技術を伝承しながら次の時代につなげていけたらと考えます。

ココに注目!

宮崎県下の脳神経外科専門医数は少なく忙しいのは事実ですが、少ないからこそ短期間での「個人症例経験数」は多くなることはメリットです。また夏季休暇(2週間)と冬季休暇(1週間)はきちんと確保しますし、希望者には国内・海外留学も可能です。

先輩からのメッセージ



病棟医長 河野 朋宏

脳神経外科は、脳と神経のミステリーを解き明かし、手術や薬剤、放射線を駆使して命に関わる問題に立ち向かう診療科です。脳卒中や脳腫瘍、頭部外傷など、命を左右する多様な症例に挑む毎日、刺激的で、また、脊髄や小児、機能脳神経外科など広範な分野を学べる点がこの科の魅力の一つです。最初は不安や疑問でいっぱいかもしれませんが、仲間と共に試行錯誤し、患者さんが回復した時の達成感は何物にも代えがたいものがあります。さらに、脳神経外科は日々進化を遂げ、新しい治療法や技術を学びながら常に成長できる診療科です。あなたもこのダイナミックな分野で、患者さんの未来を守るために共に歩んでいきませんか。あなたの挑戦を、私たちにサポートさせてください!



潤和会記念病院 小笠原 奈月

「脳神経外科医です」って言えたら、なんだかカッコよくないですか? 実際、脳という最も神秘的で繊細な臓器に向き合うこの分野は、やりがいと責任に満ちた魅力的な世界です。宮崎県では現在、脳神経外科医が不足しており、入局すれば即戦力として活躍できるチャンスがあります(もちろん先輩の手厚いサポート付き!)。「男性医師ばかりで敷居が高そう…」と思っている女子のみなさん、脳神経外科はむしろ繊細さや気配りが活きる分野です。なにはともあれ性別や年齢に関係なく興味を湧いたあなたは、すでに脳神経外科医としての素質があります。まずは見学に来て、「脳神経外科医です」と名乗る未来の自分を一緒に想像してみましょう!

博士号や各種専門医・認定医の資格獲得も手厚く援助致します。また外部講師を招いての講演会(懇親会)を頻繁に行い人脈作成も可能ですし、全国学会や国際学会への積極的な参加もサポート致します。

お問い合わせ先

担 当 : 山下 真治

T E L : 0985-85-3128
F A X : 0985-84-4571
e-mail : miyazakineuros@gmail.com

https://miyazaki-u-neurosurgery.jp/

脳神経外科 HP



放射線科 専門研修プログラム

目指せー“Doctor's doctor”
必要とされる優れた放射線科医へ！

募集定員
5名

研修期間
3年



責任者からのメッセージ



放射線科
教授 東 美菜子

放射線医学は、放射線診断(画像診断、核医学、IVR：Interventional Radiology)と放射線治療からなります。近年、高精度で安全な検査・治療を可能にする技術の開発が著しく、人工知能(AI)の研究もさかんで、高度な技術の臨床応用が進んでいます。放射線科では、様々な技術を駆使して、各診療科のニーズに応じ、あらゆる年齢・臓器を対象とした適切な放射線診療を提供することに日々励んでいます。我々宮崎大学放射線科は、宮崎の放射線診療の充実を目的とした人材育成に力を入れ、チーム医療の一員としての心構えや各診療科医師とのコミュニケーションスキル、放射線診療の知識と技術を習得できるような充実した研修プログラムを作成し、熱心に教育を行っています。さらに、最先端の画像技術やAIを用いた研究を行っており、リサーチマインドの育成にも取り組んでいます。みなさんと一緒にお仕事ができる日を医局員一同大変楽しみにしております。

プログラムの特徴

本プログラムは、放射線診断医・放射線治療医となるために必要な研修を、基幹病院である宮崎大学医学部附属病院と連携施設で行います。

- 基幹病院である宮崎大学医学部附属病院で、放射線診断(画像診断・核医学・IVR)・放射線治療のトレーニングを幅広く受けます。
- 連携施設では、救急疾患や日常よく遭遇する疾患の画像診断を多く経験し、総合的な診療能力を培います。
- 症例報告を含む学会発表の経験を積み、海外での学会発表や論文作成を目指します。
- 希望者は、先進画像を用いた研究や人工知能(AI)研究など、画像診断・放射線治療に関する研究を経験できます。

連携施設名等

	施設名	指導医	専門分野・特徴
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	13名	画像診断・IVR・放射線治療
連携施設	県立宮崎病院、都市部医師会病院、藤元総合病院、宮崎市医師会病院、宮崎江南病院		
関連施設	都城健康サービスセンター		

取得可能な専門医資格および技能

- 放射線科専門医
- 放射線診断専門医
- 放射線治療専門医
- 核医学専門医
- PET核医学認定医
- IVR専門医
- マンモグラフィ読影認定医
- がん治療認定医

○ 研修コース 本人の希望で決定します

A：大学病院での研修を中心としたコース

B：大学病院で基礎的な研修をしたのち、連携施設中心に研修するコース

C：大学病院・連携施設での研修と博士号取得を同時に目指すコース

	1年目	2年目	3年目
A	大学病院	大学病院	連携施設
B	大学病院	連携施設	連携施設
C	大学病院 (臨床・大学院)	大学病院 (臨床・大学院)	連携施設 (臨床・大学院)



プログラム達成目標

- ① 画像診断・IVR・放射線治療に関する知識の修得
- ② 安全で質の高い医療を提供する専門技能の修得
- ③ 医療人としての倫理観とチーム医療の一員としての姿勢を持つ専門医の育成
- ④ リサーチマインドの育成

経験すべき検査・読影数		経験すべき治療数	
X線単純撮影	400例	IVR	30例
消化管X線検査	60例	放射線治療	30例
超音波検査	120例		
CT	600例		
MRI	300例		
核医学検査	50例		

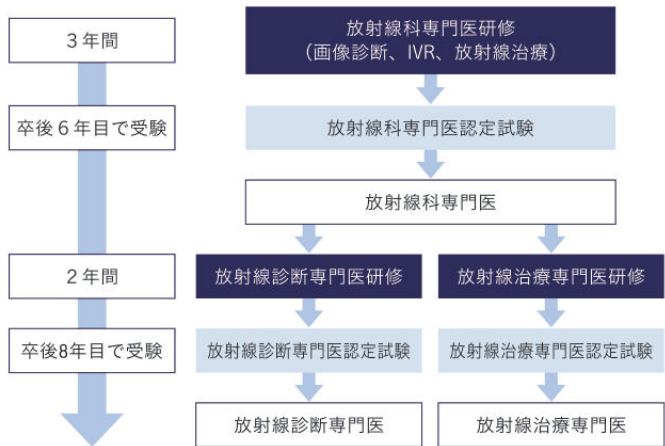
週間スケジュール

- ① CT・MRI ② IVR ③ 核医学 ④ 放射線治療
の4つのグループの研修を網羅的に行います。

(ある専攻医の1週間)

	月	火	水	木	金
	CT 病棟業務	CT 病棟業務	IVR 病棟業務	IVR 病棟業務	CT 病棟業務
	MRI 症例レビュー	MRI 症例レビュー	MRI 症例レビュー	医局会・勉強会 病棟カンファレンス 救急カンファレンス	MRI 症例レビュー

専門医取得までのタイムスケジュール



- CT・MRIグループでは、読影のみならず、画像検査の適応判断や撮像法の検討、検査前確認(腎機能やアレルギーなど)、造影剤副作用対応など担当します。
- IVRグループでは、検査や治療に参加し、緊急症例にも対応します。
- 核医学グループでは、放射性同位元素を用いた画像診断や内用療法を担当します。
- 放射線治療グループでは、治療計画や治療中の患者の診察・ケアを行います。
- 毎日午後に各グループで共有すべき症例や教育的な症例をレビューします。
- 指導医と一緒に入院患者の診療を担当します。
- 木曜日の勉強会で論文紹介や症例提示を担当します。

指導医からのメッセージ



原 卓也

放射線画像は、ただの白黒の影ではありません。そこに「知識」という光をあてて初めて、正しい診断にたどりつくことができます。当医局では、診断・IVR・放射線治療・核医学のすべての分野で、若手の育成に力を入れています。日々の症例振り返りやマンツーマンの指導を通じて、「画像を読み解く力」と「画像を使って治療する力」を基礎からしっかり身につけられる環境です。また、子育て中の医師も自分らしく活躍できるよう、柔軟な働き方をサポートしています。ライフステージが変わっても、専門性を磨き続けられる体制がここにあります。確かな知識を武器に、進むべき道を示す「医療の羅針盤」となる画像のプロを共に目指しませんか。

先輩からのメッセージ



明利 陸征

私は、放射線科の中でも放射線治療を中心に診療をさせていただいています。放射線治療は、がん治療の3本柱の1つであり、徐々にその存在感が増えています。根治にも緩和にも携わることができ、特に緩和では局所制御だけでなく疼痛改善や神経症状予防、止血などのQOL維持に直結する効果があります。各診療科の医師、放射線技師さん、看護師さん等とチームを組み、患者さんの生活や想いに寄り添いながら治療を行っています。スタッフも若手中心で、非常に明るく楽しい雰囲気の中、診療させてもらっています。がん治療に興味がある方や、様々な診療科の疾患が診たい方など、ほんの少しでも興味のある方、一緒に放射線治療をやりたいです。



中村 咲和

私は画像診断とIVRを中心に研修しています。大学で数年勤務した後、地域の市中病院での勤務を1年間経験して、今年度からまた大学に戻ってきました。同年代の仲間や頼れる上司が多数いる研修環境のありがたさを痛感しています。放射線科は、座ってじっくり画像に向き合うもよし、IVR等でガンガン手技をするのもよし、そのMixもOK！核医学や放射線治療も守備範囲で、多様な働き方を選択できます。言葉だけでは伝えきれないのでぜひ一度見学にいらしてください。



新地 康規

放射線科の魅力は、画像診断からIVR、放射線治療まで幅広く診断・治療に関わることができる点にあります。特にIVRでは、出血や外傷などの緊急症例に対応し、自らの判断と手技が直接患者さんの救命や改善につながる場面を経験でき、大きなやりがいを感じています(まだまだ研鑽中の身ではありますが...)。また、日々の読影業務を通じて多様な症例に触れ、臨床に必要な知識や判断力を着実に身につけることができます。研修を重ねる中で自分のできることが少しずつ増えていく実感があり、それが大きなやりがいにつながっています。明るく楽しく盛り上がり一緒に学んでいきましょう！



中野 靖子

放射線科は、多分あなたが思っている以上に、診断・治療・経過観察、多くの疾患に様々な角度から関わります。専攻分野としては、きっとあなたの興味範囲外ではないはず。業務は多岐に渡ります。毎日発見の連続です。専攻医2年目として、至らないながらも誠実に目の前の課題に取り組む事、出来る事を増やしていく事を心がけています。とりえず、落ち込んでいる暇はありません。診断医、治療医、救急医、技師、看護師、クラーク。放射線科は大事業です。相乗効果を存分に享受できます。チームの醍醐味です。感謝と敬意を忘れなければ。



宮城 遼

放射線科に興味をもったのは、学生の頃でした。画像を見て自分が考えたことが読影レポートの内容と一致していると、背中を押されているようで安心する、そんな感覚がありました。今度は自分が主治医の背中を押すレポートを書きたいという思いと、当科の柔らかな雰囲気惹かれて入局を決めました。私はIVR志望なのですが、読影も非常に奥深くて興味が尽きません。過去に参加したセミナーで拝見した、全国のご高名な先生方が悩むことを楽しみながら読影する姿は衝撃的で、そこを目標に日々研鑽に励んでいます。あらゆる診療科と連携しながら適切な治療を目指すのが放射線科の魅力だと思いますので、ご興味ある先生はぜひ一度見学にいらしてください。

お問い合わせ先

担当：東 美菜子

T E L : 0985-85-2807
F A X : 0985-85-7172
e-mail : minako_azuma@med.miyazaki-u.ac.jp

放射線科 HP
<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/radiology/>



麻酔科専門研修プログラム

家庭も仕事も大事にしたいから、
麻酔科いいんじゃない・・・

募集定員
10名

研修期間
4年



責任者からのメッセージ



麻酔科
科長 恒吉 勇男

当医局は、麻酔科としてプロフェッショナルになることはもちろんですが、そのために家庭生活がおろそかになるような不合理は認めません。家庭あってのお仕事です。仕事の満足度、収入、家庭に奉仕する時間、それらをバランスよく得られるように最大限配慮しています。

プログラムの特徴

九州各県の代表的な研修施設と連携し、幅の広い研修を積むことができます。もちろん、宮崎大学でも豊富な症例がありますので、立派な麻酔科医に成長することは確約します。4年目に専門医を受験します。集中治療やペインクリニックなども研修できます。

連携施設名等

	施設名	指導医	専門分野・特徴
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	恒吉 勇男 教授、他17名	麻酔、集中治療、ペインクリニック
連携施設	宮崎県立宮崎病院、宮崎市郡医師会病院、都城市郡医師会病院、宮崎江南病院、潤和会記念病院、久留米大学医療センター、久留米大学病院、大牟田市立病院、北九州市立医療センター、北九州総合病院、産業医科大学病院、九州がんセンター、福岡大学筑紫病院、唐津赤十字病院、白十字病院、福岡大学病院、JCHO九州病院、福岡県済生会福岡総合病院、聖マリア病院、九州大学病院、福岡市立こども病院、九州医療センター、琉球大学病院、浦添総合病院、沖縄県立中部病院、沖縄県立南部医療センター・こども医療センター、友愛医療センター、神戸大学医学部附属病院、福岡東医療センター、宮崎県立延岡病院、宮崎県立日南病院、都城医療センター、古賀総合病院、筑後市立病院、福岡赤十字病院		

取得可能な専門医資格および技能

- 麻酔科専門医
- 集中治療専門医
- ペインクリニック専門医
- 緩和ケア専門医
- 区域麻酔専門医
- 老年麻酔専門医
- 心臓血管麻酔専門医
- 小児麻酔専門医

プログラム達成目標

昨今、麻酔科は専門性を高め、高度医療には欠かせない診療科となっています。麻酔科ニーズは、宮崎ではとても高いものがありますので、将来にわたって不安なく就労することも出来ます。さらに、ペインクリニック、集中治療、緩和ケアなどのサブスペシャリティを修得すると、さらに魅力的な麻酔科医に成長することが出来ます。



主要症例名と実績数

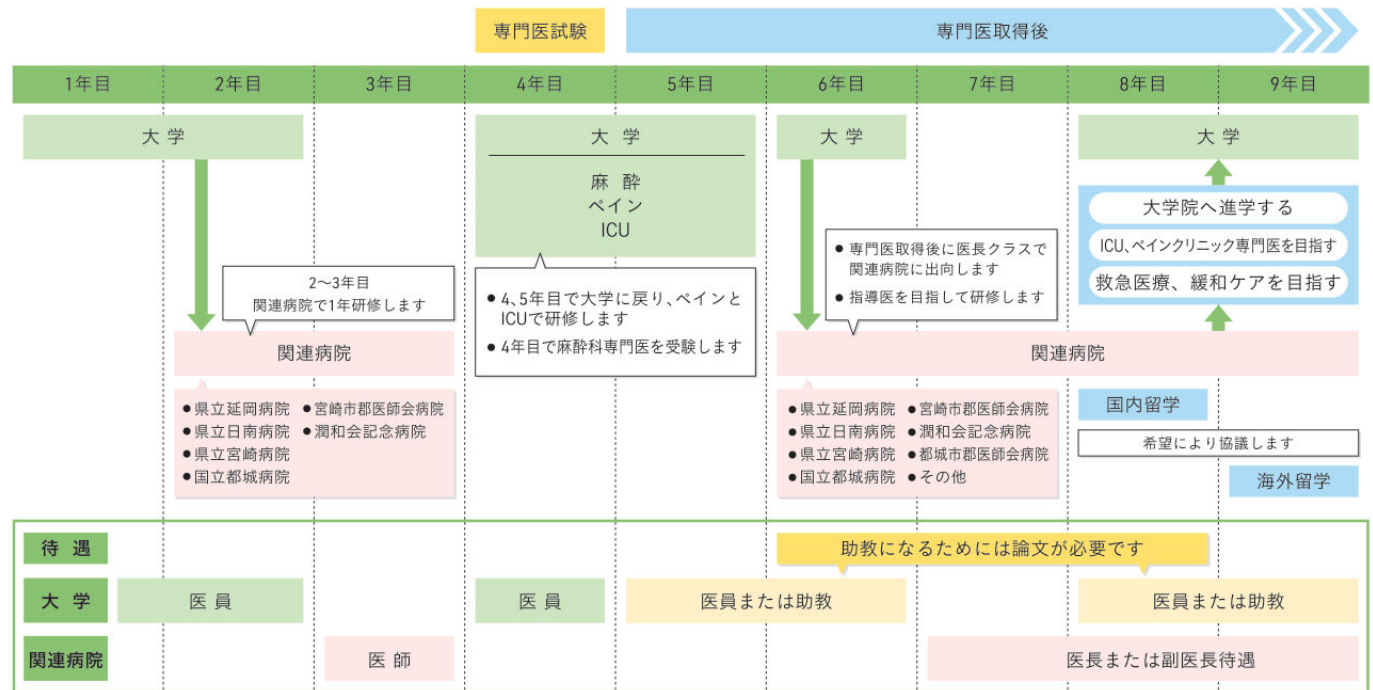
大学病院実績（R4年度）	
症例	実績数
総手術件数	5,839例
麻酔科管理症例	4,467例
ペイン外来	のべ 3,346人
集中治療室	803人

専門医取得までのタイムスケジュール

はじめの2年間は大学にて麻酔研修を行います。基本的な麻酔症例から、2年目には食道がんや心臓手術などの高度な手術の麻酔管理を行い、麻酔全般を満遍なくこなすことで、麻酔科医として一通り完成します。その後1～2年は関連病院に出向し、緊急手術をはじめとして第一線で様々な症例を経験することで、独り立ちできる自信を身に着

けます。4～5年目は、大学にてペインクリニックや集中治療を研修する傍ら、麻酔科専門医試験を受験します。その後は、麻酔の指導医を目指して麻酔を極めるなり、集中治療やペインクリニックの専門医を目指します。また大学院に入学し、学位取得を目指して研究に勤しむこともできます。その先には、夢の海外留学も待っています。

宮崎大学麻酔科 後期研修医研修プログラム



週間スケジュール（宮崎大学医学部附属病院の例）

時間	月	火	水	木	金	土	日
AM			手術室			休み	
PM			手術室			休み	
当直			当直				当直

指導医からのメッセージ

麻酔科医としてどこでも通用する高い技術レベルを指導します。医局も明るく朗らかで、いい人ばかりです。いわゆるブラックな人はいませんので、安心して仕事に打ち込むことができます。麻酔科医としての成長に終わりはありません。麻酔科は、クオリティオブライフを保ちつつ自己研鑽に努めたい方には是非ともお勧めできる診療科です。心より、お待ちしております。

先輩からのメッセージ

忙しいけど、充実していて楽しいですよ！入局を考えている方がいらっしゃいましたら、ぜひ病院見学に来てください。見学に来られた際には、もっといろんなお話ができるかと思いますので、ぜひ見学だけでも来てください。

年休もしっかり取れますよ。仕事と休息のバランスがとりやすいです。働き方改革の先端を走ってますね。

お問い合わせ先

T E L : 0985-85-9357

担当：矢野 武志

麻酔科、集中治療部、ペインクリニック科
e-mail : yanotake@med.miyazaki-u.ac.jp

麻酔科HP

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/masui/>



病理専門研修プログラム

信頼され、求められる病理医と一緒に目指そう！

募集定員
2名

研修期間
3年



責任者からのメッセージ

病理診断科長
病理学講座腫瘍形態病態学分野
教授 佐藤 勇一郎



宮崎大学附属病院病理診断科では、全科・全領域にわたり、病理診断をしています。指導医とマンツーマンで、マクロ・ミクロの病理標本を

みながら、基礎的な標本の見方から希少症例や難しい症例の診断まで経験することができます。病理解剖も執刀医として行い、全身臓器の病理所見、さらに患者様の全体像をとらえる重要なトレーニングがつめます。宮崎県内の連携施設、病理医との関係が強く、連携施設での研修も可能です。学会活動や研究も積極的に行っており、日本病理学会や九州沖縄支部スライドカンファレンスにも参加、発表、論文発表も行っています。宮崎大学で、一緒に病理医としてのトレーニングをつんでみませんか。

プログラムの特徴

- ① 全領域にわたる豊富な症例を指導医とともに経験できる。
- ② 各診療科とのカンファレンスがおこなえる。
- ③ 執刀医として病理解剖を行い、全身臓器に精通できる。
- ④ 宮崎県内全ての病理医から指導が可能で、連携施設での研修も可能。
- ⑤ 病理学会、九州・沖縄支部スライドカンファレンスにも積極的に参加、発表、論文作成も行える。

取得可能な専門医資格および技能

病理専門医：病理解剖、病理診断、細胞診断を迅速かつ正確に行える。

解剖資格医：解剖を安全かつ正確に行う技能を身につける。

細胞診専門医：細胞診断を正確に行い、細胞検査士を指導できる。

分子病理専門医：分子病理に精通し、病理検体の管理・提供、遺伝子解析が行える。

連携施設名等

	施設名	指導医	
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	佐藤 勇一郎 病理診断科長、他6名	
連携施設1群	県立宮崎病院、防衛医科大学校病院、公益財団法人 がん研究会有明病院、宮崎市医師会病院		
連携施設2群	県立延岡病院、県立日南病院、潤和会記念病院、宮崎善仁会病院		
連携施設3群	古賀総合病院、地域医療機能推進機構 宮崎江南病院、都城市郡医師会病院、国立病院機構 都城医療センター		

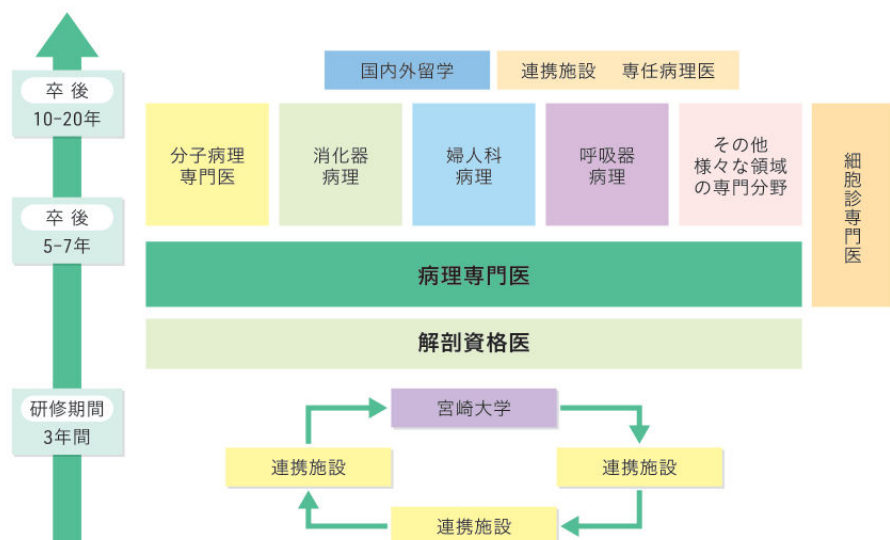
連携施設1群・・・複数の常勤病理専門指導医と豊富な症例を有しており、専攻医が所属し十分な教育を行える施設

連携施設2群・・・常勤病理専門指導医がおり、診断の指導が行える施設

連携施設3群・・・病理指導医が常勤していないが、基幹病院から定期的に指導医が派遣されている施設

専門医取得までのタイムスケジュール

本プログラムでは、宮崎大学医学部附属病院を基幹施設とし、3年間は専門研修連携施設をローテートして病理専門医資格の取得を目指します。連携施設と併せて年間10～15例程の剖検数があり、組織診断も25,000件程度あるため、病理専門医受験に必要な症例数は余裕を持って経験することが可能です。研修終了後1年間は基幹施設または連携施設において引き続き診療に携わり、研修中に不足している内容を習得します。宮崎大学に在籍する場合には研究や教育業務にも参加していただけます。専門医資格取得後も引き続き基幹施設または連携施設において診療を続け、サブスペシャリティ領域の確立や研究の発展、あるいは指導者としての経験を積んでいただきます。本人の希望によっては留学(国内外)や連携施設の専任病理医となることも可能です。



プログラム達成目標

病理学の総論的知識と各種疾患に対する病理学的理解を身につけ、医療における病理診断(剖検、手術標本、生検、細胞診)を的確に行い、臨床医との相互討論を通じて医療の質を担保するとともに患者を正しい治療へと導けることを目標とする。生検、術中病理診断、手術材料の診断においては、診断が比較的容易で症例数の多いものからはじめ、希少症例、難解症例では鑑別診断をあげられるようにする。剖検では、執刀から臨床病理検討会(CPC)および報告書作成まで行い、全身臓器に精通し、症例をまとめる能力を身につける。

日課タイムスケジュール

時間	病理診断当番	解剖当番
AM	生検・手術検体診断	病理解剖
PM	指導医による診断内容チェック	追加検査提出、症例まとめ記載
	手術材料 切出	

週間スケジュール(宮崎大学医学部附属病院の例)

月	火	水	木	金
切出し・術中・診断	切出し・術中・診断	切出し・術中・診断	診 断	切出し・術中・診断
婦人科カンファ (月1)	骨髄カンファレンス	腎生検カンファレンス (随時)		胎盤肉眼観察
呼吸器カンファ (隔週)	泌尿器カンファレンス (隔週)			
外科病理抄読会 (隔週)				

指導医からのメッセージ



盛口 清香

皆さんが思う病理医って、どんな感じでしょうか？ 華やかさはありません。患者さんに、ありがとうございますと言われることも、ほとんどありません。地味と言えば地味です。でも、私が顕微鏡をみて下した診断が、患者さんの治療に繋がると思うと、気が抜けない、重要な仕事だと誇りに思っています。そんなお仕事、一緒にやってみませんか？

先輩からのメッセージ



都築 諒

病理診断科で専門医研修4年目の都築です。学生時代はあまり病理に興味が無く、漠然とムズカシイものという印象でした。研修医の時に病理をローテーションした際に、診断病理を経験することで、病理の魅力に引き込まれました。ただ組織所見を見つけるだけでは無く、なぜそのような組織像になったのか、考えることは非常に面白いです。また上級医とのディカッションでまた新たな解釈を学ぶことができ、成長が実感できます。嘔めば嘔むほど味が出てきます。他にも病理医の魅力があり、ベッドフリーなので時間の融通が効きます。仕事とプライベートを両立したく、顕微鏡で見ることにアレルギーがない方は向いていると思います。病理医も選択肢として如何でしょうか？



梅北 佳子

もともと臨床医志望でした。学生時代の病理学の授業や試験は記憶にないです。私にとって病理とは、そのくらい縁遠い世界でした。研修医時代、同期が病理を選択していたので、つられて私も選択してみました。それが運命の出会いでした。意外に自分に合っていることに気が付き、入局、今に至ります。病理診断の楽しさを短い文章でお伝えするのは難しいです。少しでもご興味があれば、まずは一カ月、病理診断科で研修してみましよう！

お問い合わせ先

担 当：佐藤 勇一郎

T E L：0985-85-2809
F A X：0985-85-2809
e-mail：yuichiro_sato@med.miyazaki-u.ac.jp

病理HP

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/pathology/>



募集定員
1名研修期間
3年

責任者からのメッセージ



部長 梅北 邦彦

臨床検査はEvidence Based Medicineに基づいた診療の実践にかかせません。臨床検査の全般において、その品質の向上と維持に努め、適切かつ信頼性の高いサービスを通して良質で安全な患者診療に貢献する専門医が臨床検査専門医です。臨床検査専門医は臨床検査医学、臨床医学全般に関わる総合的な科学者と位置づけられます。この学際的な側面は、診療だけでなく研究にも参画できる能力を発揮することになります。

プログラムの特徴

初期臨床研修後すぐに専攻医となるのはもちろんのこと、他領域で経験を積んだ後に当該専門領域のキャリアを踏まえて、より検査診断に特化した力量と資質の習得を目指すこと(セカンドキャリア)も可能です。臨床経験豊富な他基本領域専門医取得者には、初期臨床研修修了後の専攻医と同じプログラム制の研修はそぐわないと考えられ、この場合は、カリキュラム制の研修を行うことを可能とします。カリキュラム制とは、研修の形態の詳細は問わず、到達目標を達成すれば認定試験受験資格を与えるものです。

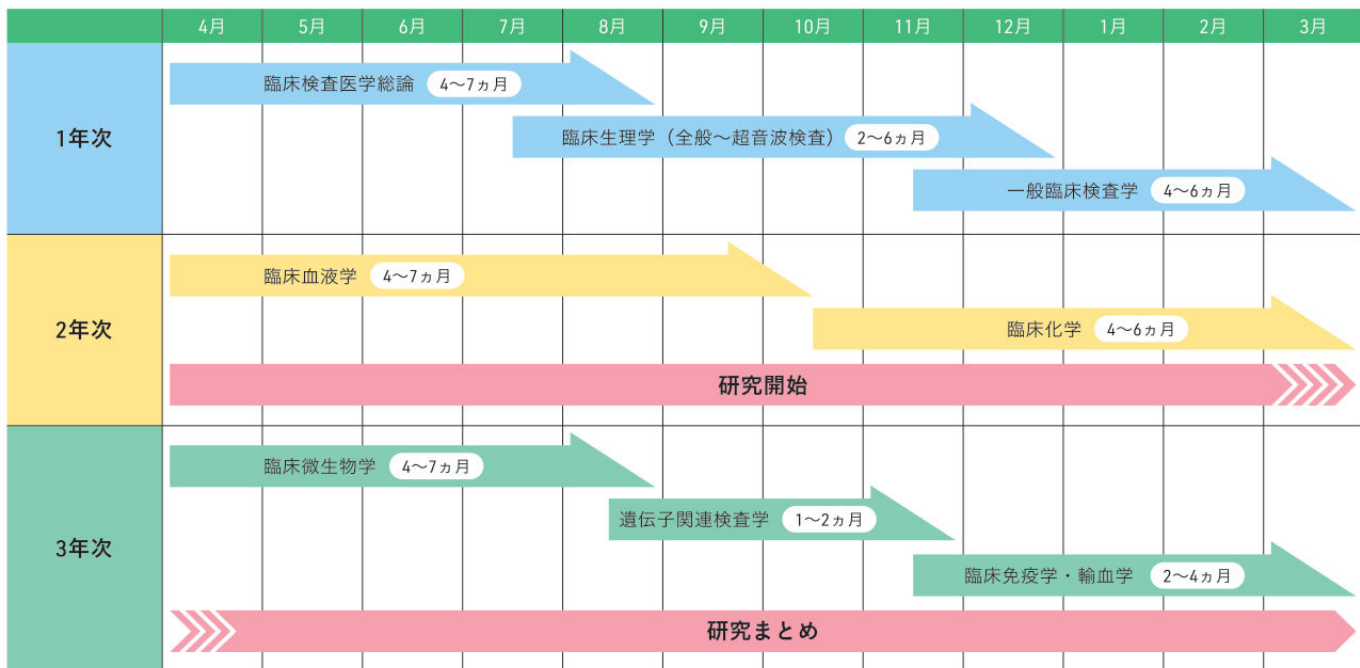
取得可能な専門医資格および技能

臨床検査専門医の資格を取得できます。臨床検査専門医のSubspecialty領域は現時点ではまだ決まっていません。想定される専門医には、感染症専門医、超音波専門医、臨床遺伝専門医、人間ドック健診専門医、消化器内視鏡専門医などがあり、どれも本研修と連続性を持った追加の研修が可能です。

専門医取得までのタイムスケジュール

まず日本臨床検査医学会に入会していただき、プログラム制ではストレート研修、カリキュラム制では、その方の希望に応じた研修スケジュールを相談して決めます。

以下はプログラム制の例です。3年間の研修を5年かけてゆっくり研修するコースなども設計できますので、ご相談ください。



プログラム達成目標

以下の項目達成をプログラム制では3年間の目標とします。

- 1 経験すべき臨床検査として、臨床検査医学総論、一般臨床検査学・臨床化学、臨床血液学、臨床微生物学、臨床免疫学・輸血学、遺伝子関連検査学、臨床生理学があります。
- 2 報告書の作成とコンサルテーションへの対応として、臨床検査の報告書作成、施設内のチーム医療活動への参加、コンサルテーション対応などがあります。
- 3 検査データカンファランス(RCPC: reversed clinico-pathological conference)に参加します。
- 4 宮崎県で行われる地域の検査事業に参加します。また臨床検査専門医資格を受験するためには臨床検査医学(臨床病理学)に関する筆頭者としての原著論文、または学会報告が3編以上あること(ただし、そのうち筆頭者としての原著論文が少なくとも1編以上あること)が必要です。

主要症例名と実績数

- 1 臨床検査医学総論：
 - ・外部精度管理の成績を3篇以上経験(日本医師会、日臨技、CAP等のプログラムを含む)
- 2 一般臨床検査学・臨床化学：
 - ・内部精度管理：10項目以上、各項目1例以上
 - ・異常値・パニック値症例：10項目以上、各項目3例以上
- 3 臨床血液学：
 - ・内部精度管理：5項目以上、各項目1例以上
 - ・異常値・パニック値症例：5項目以上、各項目3例以上
 - ・病的末梢血液像・骨髓像：あわせて10例以上
- 4 臨床微生物学：
 - ・一般細菌検査(グラム染色、同定、薬剤感受性)：10例以上
 - ・抗酸菌検査(塗抹・培養)：3例以上
- 5 臨床免疫学・輸血学：
 - ・内部精度管理：5項目以上、各項目1例以上
 - ・異常値・パニック値症例：5項目以上、各項目3例以上
 - ・血液型判定(変異型含む)、クロスマッチ、不規則抗体検査：3例以上
- 6 遺伝子関連検査学：
 - ・血液疾患・悪性腫瘍・薬物代謝・遺伝性疾患に関する遺伝子検査：2例以上
- 7 臨床生理学：
 - ・超音波検査(自身で実施したもの)：5例以上、心電図検査：5例以上、呼吸機能検査：2例以上、神経・筋機能検査：2例以上

*各項目は自己レポート形式で記録・提出し、研修到達度を可視化します。

週間スケジュール

○ 微生物検査 集中研修時

時 間	月	火	水	木	金
午前	指導医による指導・自己学習	微生物検査研修	指導医による指導・自己学習	微生物検査研修	指導医による指導・自己学習
午後	微生物検査研修				
夕方	臨床科カンファランス	臨床検査科カンファランス	臨床検査科勉強会	研究カンファランス	自己学習またはRCPC

○ 集中研修修了後 → 臨床検査全般の研修

時 間	月	火	水	木	金
午前	指導医による指導・自己学習	超音波検査研修・業務	指導医による指導・自己学習	超音波検査研修・業務	指導医による指導・自己学習
午後	検査室研修・検体検査診断業務				
夕方	臨床科カンファランス	臨床検査科カンファランス	臨床検査科勉強会	研究カンファランス	自己学習またはRCPC

指導医による指導・自己学習

検査室以外の場所(医局、研修室など)での研修です。指導医や上級検査技師によるミニ講義、過去の検査報告書・教材の自己学習、研修レポートの作成などを行います。

検査室研修・検体検査診断業務

検査室における研修で、検査の実施、見学、判定、報告書作成などを行います。研修が修了している検体検査科目は診断業務を行います。例えば、血液検査の研修が修了していれば骨髓像検査の報告書作成を行います。

お問い合わせ先

T E L : 0985-85-7284
F A X : 0985-85-4709
e-mail : kunihiro_umekita@med.miyazaki-u.ac.jp

担 当 : 梅北 邦彦

救急科専門研修プログラム

病院前から集中治療まで管理できる
General Emergency Physicianを目指す！

募集定員
7名

研修期間
3年



責任者からのメッセージ

救急科
教授 落合 秀信



本プログラムは、ドクターヘリやドクターカーなどによる病院前救急診療から、ER型救急、救急集中治療、重症多発外傷、そして精神科

の関連する救急医療まで幅広く研修することにより、いつでもどこでも地域のニーズやシステムに応じ即戦力となって救急医療を展開できる、“救急科の総合医”を育成することを目的としています。それと同時に、地域から世界へ情報発信できる“academic emergency physician”の育成も目的としています。
“いつでもどこでも地域に根差した高度な救急医療の提供”、“地域で最強の救急医の育成”、“世界を視野にいった情報発信”を合言葉と一緒に研鑽していきませんか？

プログラムの特徴

本研修プログラムは、重篤な多発外傷、内因性疾患、特殊な中毒疾患、重症熱傷について、初期治療から集中治療まで継続して診療し、重症患者の初期対応や全身管理について学ぶことができます。また、ドクターヘリ、ドクターカー等の病院前救急診療や災害医療を学ぶ体制も充実しています。救命救急センター内に救急初療室を忠実に再現したシミュレーション室や病院前救急診療の研修に特化した救急車カットモデルを有しており、教育体制についても十分に整備されています。

YouTube
救急科専門研修
プログラム紹介



連携施設名等

	施設名	指導医	専門分野・特徴
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	落合 秀信 教授、他18名	三次救急医療施設、基幹災害拠点病院、災害拠点病院、ドクターヘリ、ドクターカー配備、地域MC協議会中核施設
連携施設	県立宮崎病院、宮崎善仁会病院、都城市郡医師会病院、県立延岡病院、宮崎市郡医師会病院、小林市立病院		
関連施設	高千穂町国民健康保険病院、椎葉村国民健康保険病院、美郷町国民健康保険西郷病院、串間市民病院		

取得可能な専門医資格および技能

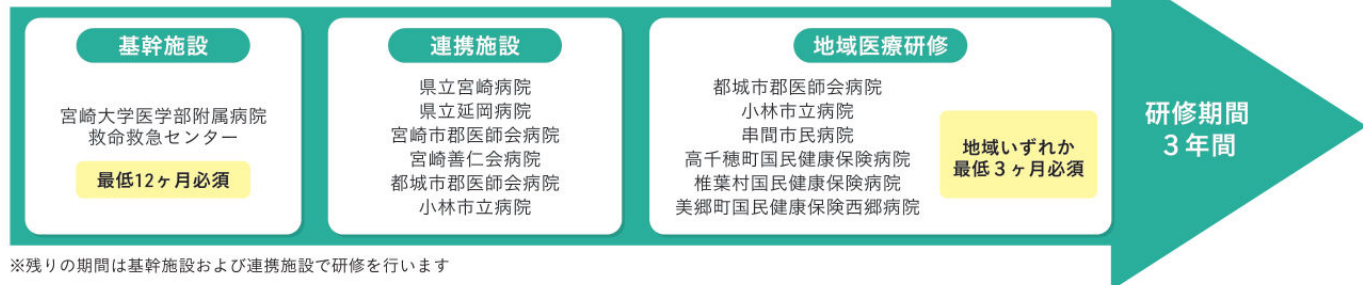
救急科専門医を取得することができます。救急科領域の専門研修中における、研修プログラムで示した集中治療領域の専門研修に関しては、サブスペシャリティ領域の集中治療専門医修練としてみなすことができます。他にもサブスペシャリティ領域として、感染症専門医、熱傷

専門医、外傷専門医、脳卒中専門医、消化器内視鏡専門医、日本脳神経血管内治療学会専門医、脳神経外傷専門医、透析専門医への継続的な育成が配慮されます。その他、ICLSやJATECなど救急系教育コースのインストラクターを目指して頂きます。

専門医取得までのタイムスケジュール

原則として、3年間の研修期間中、基幹施設での研修期間を最低12ヶ月必須とし、連携施設である県立宮崎病院、県立延岡病院、宮崎善仁会病院、宮崎市郡医師会病院、都城市郡医師会病院、小林市立病院のいずれかでの研修を3～6ヶ月必須とします。地域医療の研修として、小林市立病院、都城市郡医師会病院、串間市民病院、高千穂町国民健

康保険病院、椎葉村国民健康保険病院、美郷町国民健康保険西郷病院のいずれかでの研修を最低3ヶ月必須とします。残りの期間については専攻医の希望を尊重しつつ、地域の救急医療体制を鑑みたスケジュールで研修を行います。



プログラム達成目標

専門研修後の成果として掲げた能力を十分に備えるために、知識・技能、学問的姿勢と医師としての態度を目標とします。救命処置、診療手順、診断手技、集中治療手技、外科手技については定められた項目の症例、手技などを定数経験することで専門技能を修得します。また、学会・研究会などに積極的に参加、発表し、論文の執筆が義務付けられています。

主要症例名と実績数

症例実績 (必要経験症例数 171 例)

A 症候 主治医として担当した症例 (初療または入院日)	Aa 心停止	3項目につき5例ずつ、合計15例登録があるか
	Ab ショック	5例登録があるか
	Ac 経験すべき症候	合計30例以上登録があるか 21項目につき各3例まで
B 症候 主治医として担当した症例 (初療または入院日)	Ba 重症病態の集中治療管理	合計20例以上登録があるか 10項目につき各3例まで
	Bb 外因性救急疾患	合計20例以上登録があるか 14項目につき各3例まで
	Bc 専門領域との連携	合計6例以上登録があるか 6項目につき各3例まで
C 手技 術者として担当した症例(施行日)	Ca 必修項目	合計45例登録があるか 15項目につき各3例まで 例) 気管挿管、胸腔ドレーン挿入、CV挿入など
C 手技 術者または助手として担当した症例(施行日)	Cb 選択項目	合計30例以上登録があるか 20項目につき各3例まで 例) 開胸心マッサージ、心嚢穿刺など

日本救急医学会 救急科専攻医研修マニュアルより

週間スケジュール (宮崎大学医学部附属病院の例)

時間	月	火	水	木	金	土	日
午前	カンファレンス チーム回診	カンファレンス 教授回診 チーム回診	カンファレンス 勉強会(抄読会、レクチャー、 症例検討等) チーム回診	カンファレンス チーム回診	カンファレンス 教授回診 チーム回診	※当直明け	※休 日
午後	入院患者診療	入院患者診療	入院患者診療	入院患者診療	入院患者診療		
夕方			※レジデントデイ(月1回)	放射線科 合同カンファレンス(週1回)	当直(月5回程度のシフト制)		

※ 救急外来診療、ドクターヘリ当番(※月4回程度の当番制)

※ 当直明けはカンファレンス後に帰宅

※ 休日は5日/月(シフト制)、別に14日/年の休暇あり、講習会受講や学会参加は休日と別で確保

※ 専攻医対象のハンズオン、シミュレーション、勉強会を開催



指導医からのメッセージ



教育医長 黒木 琢也

本プログラムでは、基幹施設及び関連施設で、ドクターヘリ・ドクターカーでの病院前診療からER型救急、集中治療、災害医療、地域医療と幅広く研修することができます。指導医のサポートの元、専攻医1年目から診療の「主役」となることで知識や技術だけでなく医師としての成長を図り、どんな場所でも活躍できる、そんな救急医になってほしいと考えています。また、研究の分野でも専門研修中から積極的に取り組めるようサポートしています。専攻医と指導医が日々の診療の中で生まれる疑問や迷いを共有し、互いに寄り添いながら成長していける、そんな研修環境を目指しています。皆さん、待っていますよ。

先輩からのメッセージ



チーフレジデント 徳永 啓

本プログラムでは、1年目は大学病院で、2年目以降は宮崎県内の関連病院で研修を行います。大学病院では集中治療、ドクターヘリ診療を学び、関連病院ではER診療、ドクターカー診療から地域医療まで幅広く経験することができ、大きな魅力と考えます。屋根瓦式の指導をモットーに、専攻医は研修医・学生への教育に力を入れています。医局の雰囲気は明るく、優しく頼もしい指導医の先生方に囲まれながら、充実した日々を送っています。宮崎県の救急医はまだ不足しています。「For MIYAZAKI」の精神で、私たちと一緒に動きませんか。

お問い合わせ先

担当：長野 健彦

T E L : 0985-85-9547

F A X : 0985-85-9105

e-mail : takehiko_nagano@med.miyazaki-u.ac.jp

救急科 HP

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/kyuumei/index.shtml>

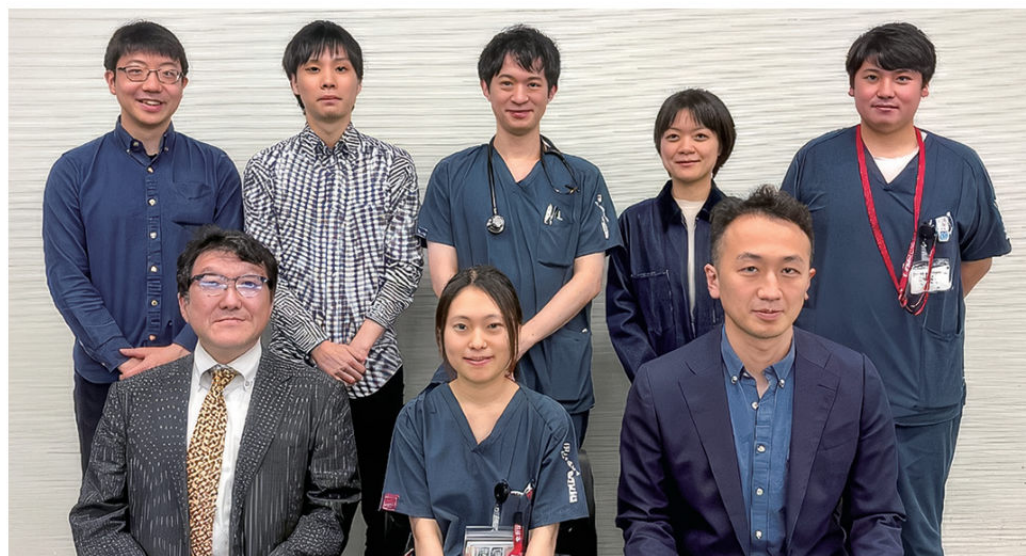


総合診療専門研修プログラム

地域医療を支える
オールラウンダーを育てるプログラム

募集定員
6名

研修期間
3年



県立延岡病院
総合診療科
医長 榎田 一旭



総合診療科学講座
教授 佐土原 道人

責任者からのメッセージ

2040年、皆さんが40歳前後の頃。外来や入院のニーズが今と様変わりし、医療と介護の複合ニーズのある患者が増えると言われています。地域の住民が求めているのは、信頼できる医師、何でも相談できる医師。そんな住民に求められる総合診療能力を身につけるひとつの手段として、総合診療専門医があります。今後需要が増える在宅医療も学ぶことができます。向こう30年で日本で最も求められる医師・引く手あまたの総合診療を一緒に学んでみませんか。

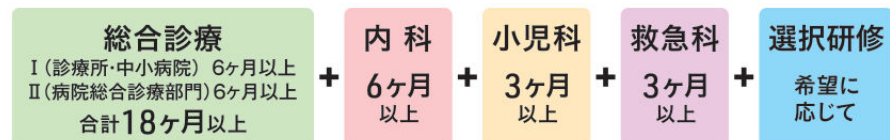
プログラムの特徴

2021年度よりALL MIYAZAKI体制として宮崎県内の総合診療専門医を養成しています。病院総合診療(ホスピタリスト)や家庭医療の両面を学ぶことができます。専攻医は県下のそれぞれの病院で実地研鑽を積みながら、Webを活用した月2回の自主勉強会、四季セミナー等を通して、off-the-jobトレーニングで学びを深めることができます。研修先については、地域枠・自治医科大学出身等の個々の事情に合わせてプログラム制・カリキュラム制も含めて柔軟に対応しています。プログラム終了後は、地域医療をはじめ、教育や研修の場で活躍しています。



連携施設名等

ALL MIYAZAKIプログラム



基幹病院

① 県立延岡病院(総合診療II、小児、救急)

連携施設

- ② 県立宮崎病院(内科、救急、小児科)
- ③ 古賀総合病院(総合診療II、内科)
- ④ 宮崎生協病院(総合診療I・II、小児)

- ⑤ 都農町国保病院(総診I・II)
- ⑥ 宮崎大学附属病院(救急)
- ⑦ 都城市医師会病院(救急)
- ⑧ 高千穂町国保病院(小児科、内科、総診I・II)
- ⑨ 県立日南病院(内科)
- ⑩ 小林市立病院(総診II)
- ⑪ 美郷町国保西郷病院(総診I・II)
- ⑫ 椎葉村国保病院(総診I・II)
- ⑬ 西米良診療所(総診I)
- ⑭ ホームクリニックみまた(総診I)
- ⑮ 緑・在宅クリニック(総診I)
- ⑯ 西都児湯医療センター(総診II)
- ⑰ 飯塚病院(内科、総診II)
- ⑱ 頼田病院(内科、総診I)

2026年4月現在



キャリアや
希望に合わせて
調整可能な
3年間

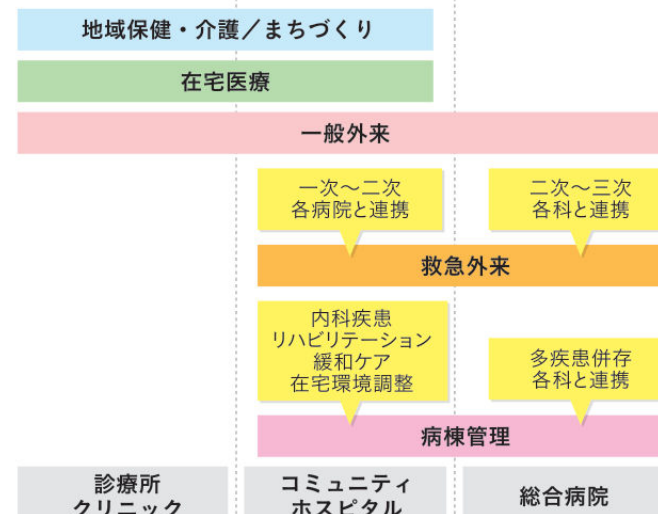
取得可能な専門医資格および技能

- 総合診療専門医
- 新・家庭医療専門医
- 病院総合診療専門医

プログラム達成目標

- 高い頻度で遭遇する症候・疾病に対する適切な初期対応能力を獲得し、その知識スキルをEBMの実践を通じて継続的に高め、かつ指導出来るようになること
- 単独専門科で対応困難な複雑性が高く未分化な健康問題に対して、不確実性を受入れ、継続的な医療・ケアを提供出来るようになること
- 患者の属性や医療機関・地域の規模を問わず、外来・病棟・救急・在宅等様々な現場で、その場に即した総合診療を提供出来るようになること
- 日常診療を通じて、目の前の患者や家族・地域に適切な予防医療を提供出来ること
- 患者家族の健康問題に対して、患者中心の医療等の枠組みを使用して全人的な評価・実践を行えるようになること
- 医療機関内での多専門科及び多職種との連携に留まらず、地域の医療・介護・福祉と適切に協働し、地域包括ケアを実践する能力を習得すること
- 一患者のケアに留まらず、地域全体の健康問題に対するニーズを把握し、解決を図ることで地域全体の健康向上に寄与する働きが出来る人材になること
- 医療者としてのプロフェッショナリズムを常に意識し、行動出来る人材になること
- 総合診療を含めた医療の発展に貢献するために、教育者・研究者としての役割を担える人材になること

ニーズに合わせて役割を果たす



主要症例名と実績数

小児～成人の一般的な症候に対するプライマリ・ケア、慢性疾患・多併存疾患の長期外来管理及び増悪時の入院管理、一般的な感染症の診療、救急科と協働した急性期診療、複雑困難事例、未分化な事例(不明熱・原発不明がん等)、緩和ケア、終末期ケア、医療的ケア児の移行ケア、在宅医療、予防医療、地域健康教育活動など

プログラム紹介動画はこちら



指導医からのメッセージ



早川 学

私は“最強の総合診療医”になることを目指しています！私の中で“最強”とは、診療所・在宅医療～総合病院までどんな規模の医療機関でも働く能力を有し、医学生～初期研修医・専攻医のどんな学年にも適切な指導が可能で、学会発表や論文執筆もきちんと行い、その指導もできる医師をイメージしています。もちろん私自身もまだまだ“最強”への道りは遠いのですが、我々はそのような医師になることが可能となる、素晴らしいプログラムを用意しています。ぜひ一緒に“最強の総合診療医”を目指しませんか？ お待ちしております！

先輩からのメッセージ



徳地 舜平

些細な問題であっても丁寧に拾い上げ、アセスメントとマネジメントを欠かさない診療に魅力を感じ、総合診療医を志しました。現在は少しずつではありますが、着実に専攻医・専門医も増え、県立病院から僻地の医療機関まで、さまざまな場で活躍しています。ご興味のある方は、短期間でも構いませんので、ぜひ実習や研修を通して、身近な総合診療医の日常に触れてみてください。(写真は、椎葉村で勤務していた際に、平家祭りへ参加したときのものです。)



茂田 実実佳

幅広い疾患を見る診療科であるからこそ日々パターン化しない診療ができる点や“疾患”だけでなく患者さんと“人”として関われる点に魅力を感じ総合診療科に進みました。総合診療科って難しそう、優秀じゃないと、という声をよく聞きますが、当プログラムでは手厚い指導医のもと、チームで相談しながら診療させて頂けるのでその心配は無用です！また、診療内容だけでなく、働きやすさも当科の魅力の一つです。ママさんDrが多く、男性医師の育休取得率も高いなど家庭と仕事の両立をされているロールモデルがたくさんいるので、自分にあった働き方を見つけていくことができると思います。少しでも興味がある方はぜひご連絡ください！

お問い合わせ先

担当：佐土原 道人

T E L : 0985-85-9809
F A X : 0985-85-9805
e-mail : soushin@med.miyazaki-u.ac.jp

○宮崎大学専門研修プログラム専攻医(医員)の処遇について

専門研修プログラム専攻医の身分	非常勤医師(医員)					
専門研修プログラム専攻医の給与	宮崎大学医学部附属病院の就業規則に準じて給与が支払われます。 詳細は、お問い合わせください。					
	賞 与	無	時間外手当	有	宿日直手当	有
勤務時間	8時30分～17時15分(うち休憩時間60分) 週5日を原則とし勤務日については指導医の勤務形態に準じ、 勤務予定は各月の始まる1週間前までに提示する。					
休 暇	有給休暇	1年次 10日 (2年次以降は非常勤就業規則に準じて増えます。)				
	特別休暇の有無	有(夏季休業、リフレッシュ休暇、産前産後休暇等)				
	その他の休暇	無給休暇(病気休暇)				
宿 舎	専門研修プログラム専攻医(医員)は、宮崎大学が所有している宿舎に入居することができます。 (状況により入居できない場合があります。)					
社会保険及び労働保険	公的医療保険	文部科学省共済組合				
	公的年金保険	厚生年金保険				
	労働者災害補償保険の有無	有	雇用保険の有無	有		
健康管理	健康診断	年1回実施				
	その他	特殊健康診断・特別定期健康診断(該当職種者の場合)、 臨時健康診断(必要がある場合)				
医師賠償責任保険の取り扱い	医師賠償責任保険の加入は、大学病院で加入。					
兼 業	可					

※ 専門研修連携施設等に在籍期間中は、各病院の待遇によります。

○宮崎大学施設紹介

ゆにのもり保育園

定 員	最大60名
対 象 年 齢	0歳～未就学児
開 所 日	月～日 ※日曜祝日もお預かり可能
開 所 時 間	7:00～20:00(延長保育を含む) ※延長保育は1カ月あたりの利用上限があります
TEL / FAX	TEL:0985-41-8763 FAX:0985-41-8764
メールアドレス	yuninomori@ev-mex.com

詳しくは
こちらへ



子育て応援します! 勤務に合わせてご利用ください。

宮崎大学附属図書館医学分館(清武キャンパス)

1階は、オープン学修スペース・ラーニングコモンズ。2階は静かに集中して学習できるキャレル、e-ラーニングルームなどを完備。医学系の専門書などのべ10万冊以上の蔵書を揃え、多様化する“学びの形”を支えるため広く活用されています。

	月 - 金	土・日	祝・休日
通常期	9:00 - 20:00	13:00 - 17:00	休 館
休業期	9:00 - 17:00	休 館	



○仕事も趣味も充実! 理想のワークライフバランスを実現!

宮崎県では、サーフィン、ゴルフ、スノーボードなどアクティブなスポーツを楽しむことができます。
仕事を忘れるくらい没頭できる趣味も宮崎ではじめてみませんか。

スキー・スノーボード

日本最南端の天然スキー場です。スノーボードも全面滑走可能で雪質も良く、毎年たくさんのスキヤー・スノーボーダーで賑わっています。



ゴルフ

南国ならではの一年中温暖な気候のため、冬場でも緑の芝が美しく映えるなど、一年を通して最高の環境でゴルフが楽しめます。



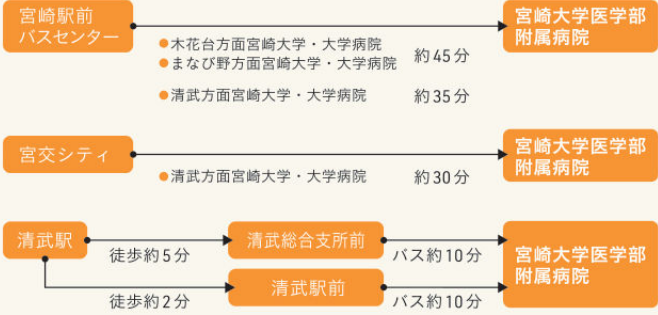
サーフィン

県北の日豊海岸から南国らしい明るい海が開ける日南海岸まで、約400kmにわたって海岸線が続いています。宮崎の海は全国屈指のサーフポイントが点在し、初心者から上級者まで誰もがサーフィンを楽しむことができます。



○アクセス

バス



JR



車・タクシー

- 南宮崎駅から 約25分
- 宮崎空港から 約20分
- 木花駅から 約15分
- 清武駅から 約10分

